

鳥取県中学校総合体育大会における 「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて

鳥取県中学校体育連盟バレーボール専門部

熱中症予防の観点から、鳥取県中学校総合体育大会では「給水のためのタイムアウト」を採用し、次のように取り扱います。ご確認ください、スムーズな大会運営にご協力いただきますよう、よろしく願います。

1. 今大会では、各セット（第3セットを含む）において、リードするチームが13点に達した時、30秒間の給水のためのタイムアウト（以下WTO）が自動的に適用される。

その際、副審が吹笛をし、コートを退くよう促し計時をする。

※ハンドシグナルは示さない。

2. このWTOは“給水を目的とするもの”であり、その間、選手はウォームアップエリア付近で給水を行う。また、監督・コーチ・マネージャー等のチーム・スタッフは、ベンチに座っていることとし、選手への指示や作戦伝達等を行わない。

注1) 給水を行うか否かの判断は、選手本人の意志による。

注2) 給水を行わなくても同エリアにとどまること。控え選手も同様である。

但し、必要に応じて、コート内にモップを入れることは許可する。

3. 第3セットは、13点でチェンジコートをした後に引き続きWTOとなる。その際、主審側を通過してコートを移動したチームの最後尾の選手がベンチ前のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛をし、計時を始める。

4. 正規の中断の要求（タイムアウト、選手交代等）やリベロ・リプレイスメントよりもWTOを優先する。正規の中断の要求（タイムアウト、選手交代等）やリベロ・リプレイスメントを行う場合は、WTOの後にその手続きを行う。